

CASBEE 広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

(仮称) 広島BPTフィットネス棟

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳				
<b>■ 1. 「地球温暖化対策」の推進</b>							
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 開口部を極力少なくする計画。 南面カーテンウォールは、熱線反射ガラスを採用。	3.0	0.18	Q1	室内環境	2	温熱環境	
	0.0	0.00			2.1	室温制御	
	3.3	0.82	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制	
小計	3.2	0.11				3	外皮性能
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	
					2.1	自然エネルギーの直接利用	
					2.2	自然エネルギーの交換利用	
小計	3.0	0.13					
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 カスケード排気による空調エネルギーの削減	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化	
小計	5.0	0.19					
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 空調中央監視設備による運転状況の監視及び効率的運用。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
					4.1	モニタリング	
					4.2	運用管理体制	
小計	3.0	0.13					
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 エコマーク、グリーン調達品の内装仕上材の使用。	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	3.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.20	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	5.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	5.0	0.20	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
小計	3.7	0.31					
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 設備システムの効率化、効率的運用による地球温暖化への配慮。	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮	
小計	5.0	0.13					
<b>1. 「地球温暖化対策」の推進の評価</b>							
	3.9	0.70					
<b>■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進</b>							
<b>2.1 温熱環境の向上</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地面積の5%以上の緑化。	1.0	0.50	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出	
	2.0	0.25	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	
	2.0	0.24	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
					2.2	温熱環境悪化の改善	
小計	1.5	0.97					
<b>2.2 交通負荷抑制</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 十分な駐車台数の確保。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
					2.3	地域インフラへの負荷抑制	
					3	交通負荷抑制	
小計	3.0	0.03					
<b>2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>							
	1.5	0.20					
<b>■ 3. 「長寿命化対策」の推進</b>							
<b>3.1 耐用性の向上</b>							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 空間の自由度の確保。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	4.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	4.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
小計	3.1	0.70					
<b>3.2 設備の更新性</b>							
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。 躯体を痛めない設備の更新性の確保。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
小計	3.4	0.30					
<b>3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>							
	3.2	0.10					
<b>■ 重点項目の総平均(上記3項目)</b>							
	3.4						